



冒涇的な兄弟

次の列車が参ります

新聞一部

あいよ

お乗りのお客様は――

普段は使わない特急列車

フ
ジ
ュ

乗ったのは
全くの偶然だった

誰もいないと思っていた
一号車で

…ん？

あっ♡

盛りのついた
雌猫のような声

こんな所で
おっぱじめて
やがる

いちおう
注意してやるか

私は

少々の下衆な
好奇心で――

あーキミたち

ちよつとねえ

「其れ」を見てしまった

ほ♡♡♡

あっ♡

アリン

ビクッ

ビクッ

アリン

あっ♡

ビクッ

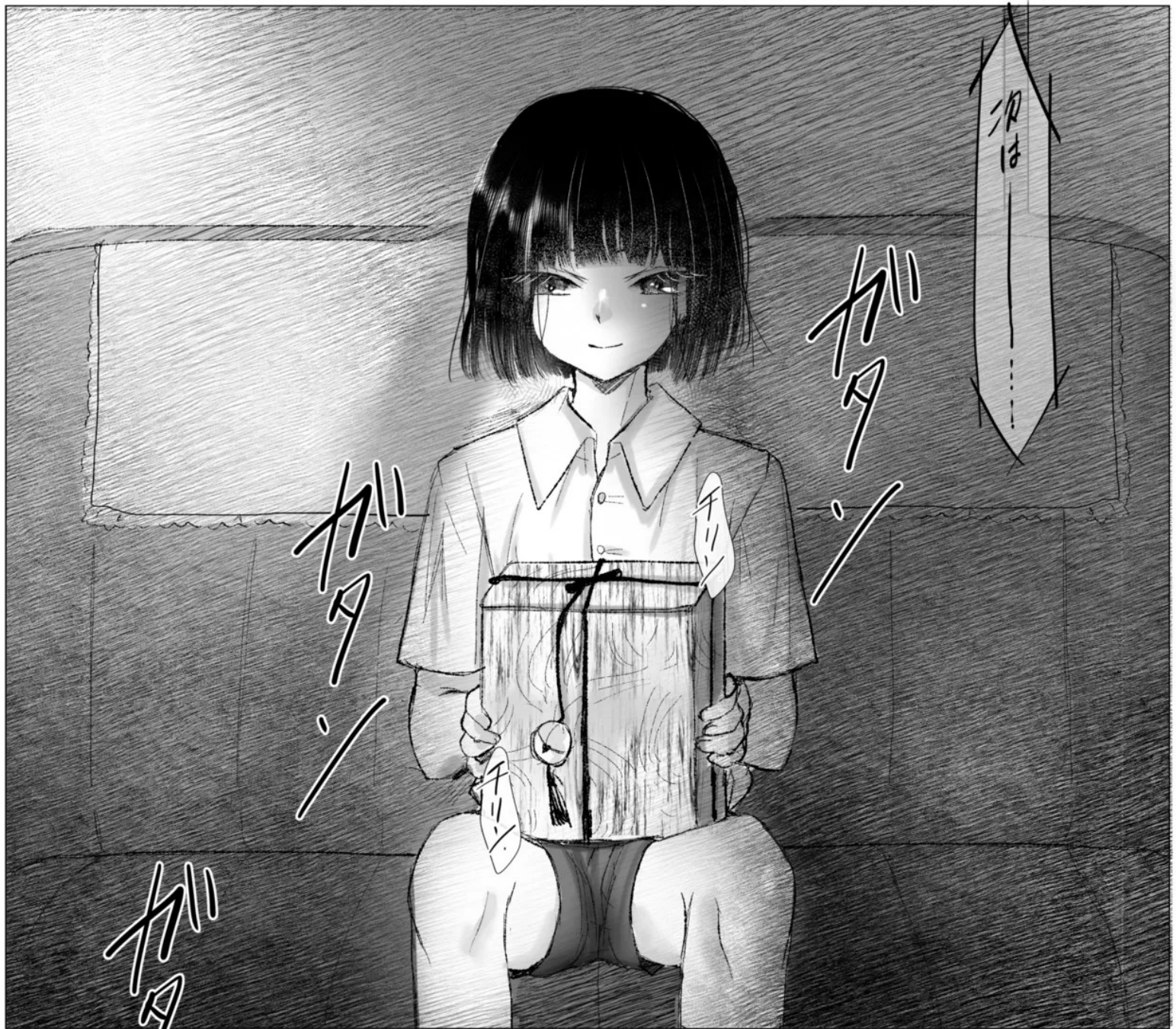
ほ♡♡♡

あっ♡

アリン

あっ♡











兄が一緒です

…兄？

はい



先ほどの声は
この少年…だよな？

あれは私の
幻覚か？

それにあの
紐のような…

——
結局

それに兄なんて
どこにも…



：もし行く当てが
ないのなら



私は下衆な好奇心を
抑えられなかった

うちに来なさい

白昼夢のような光景も
姿の見えない兄の話も
気にはなったが：

上等な宿とは
言えんがね



この奇妙な少年の色香に
あてられたのだ



ここが私の家だよ

さあ
上がって

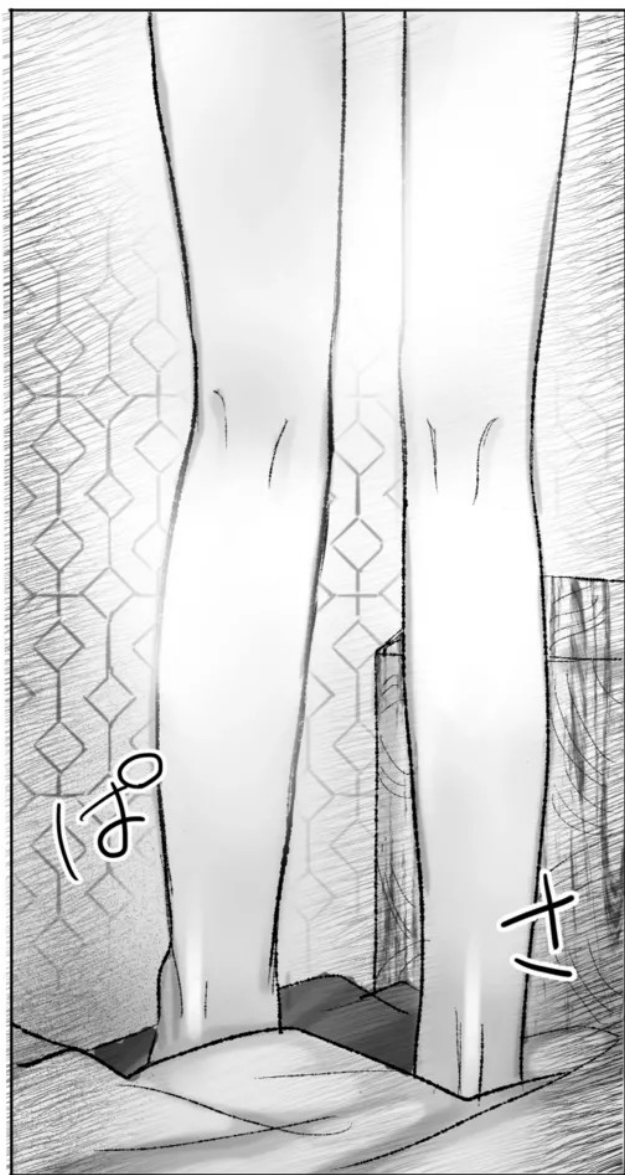
風呂の準備をさせよう

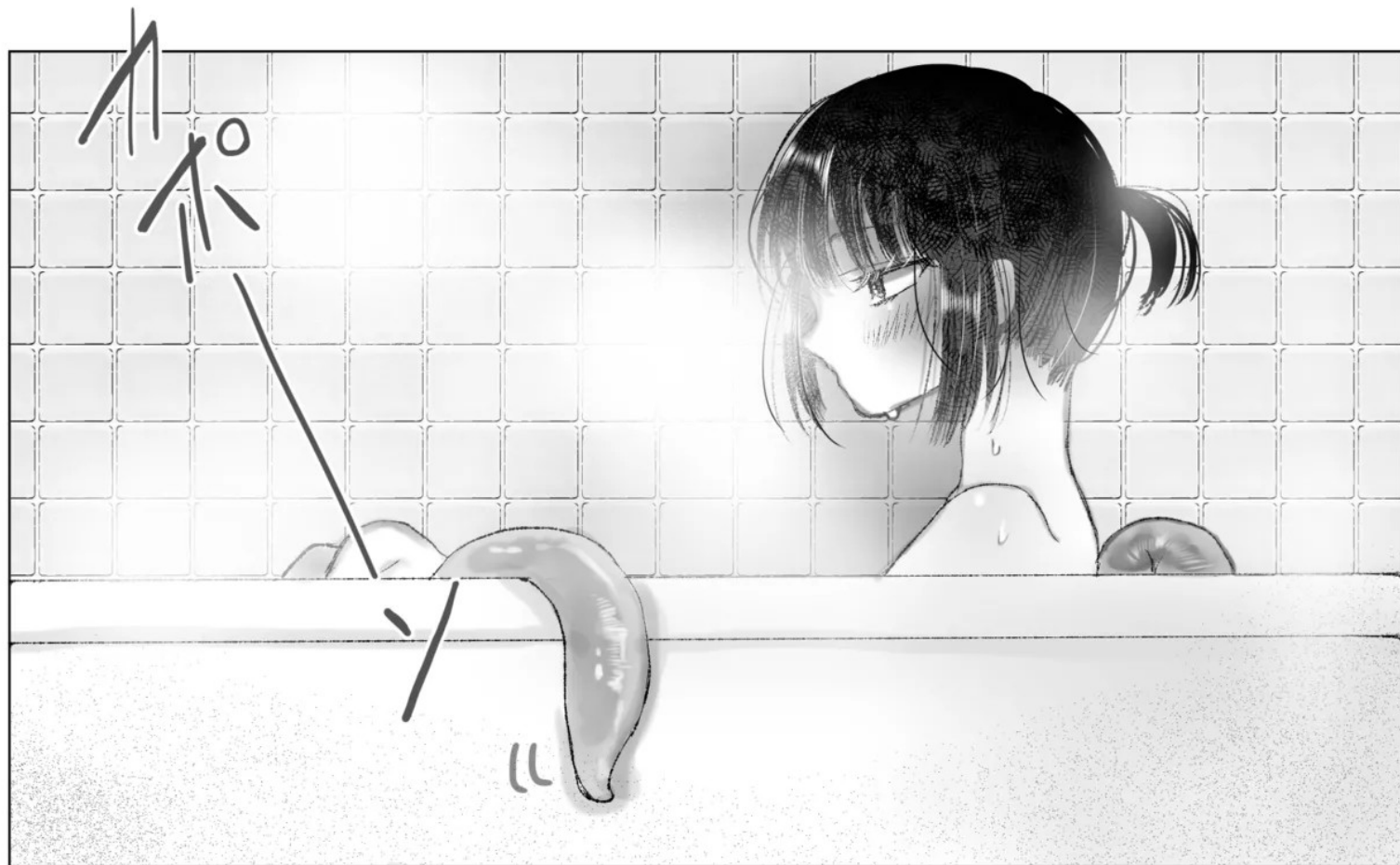
自分の家だと思って
くつろぐといい

じき日も暮れる

素敵なおうち

私と女中だけの
寂しい家だがね











ではお二階のお部屋
お借りしますね

おやすみなさい

おじさま

ああ…



なんだあの
少年は！

老人を誘惑
しておって…



居もしない
兄がどうのこうの

きつとおつむも
可哀想に違いない

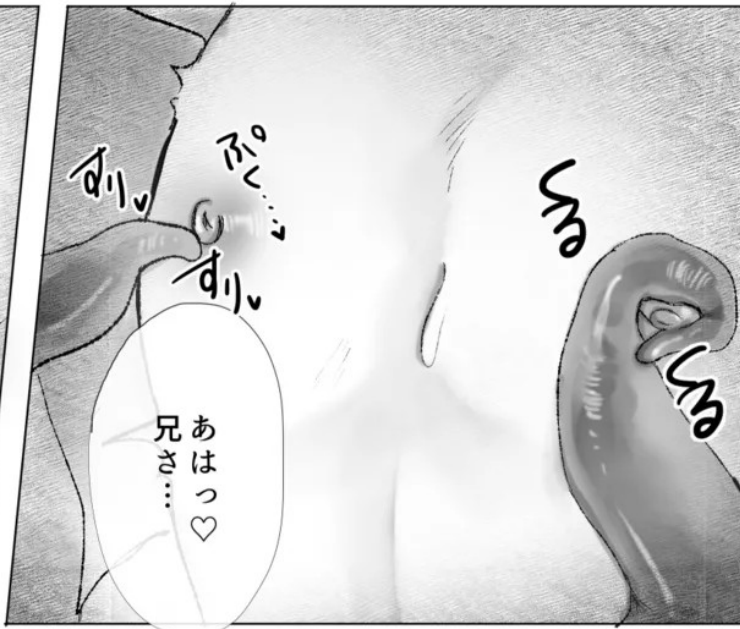


クソッ

クソッ

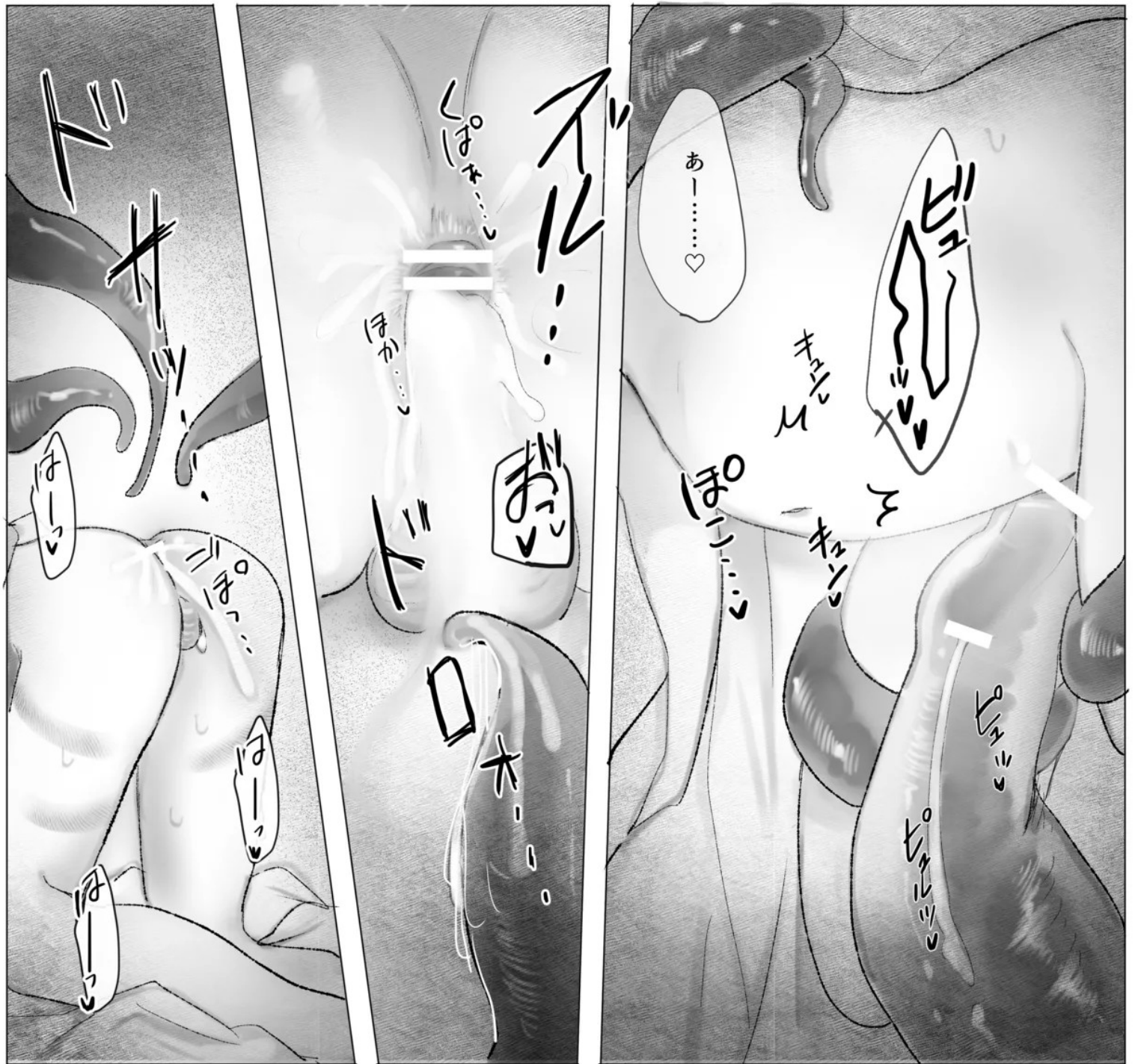
カチャ

カチャ



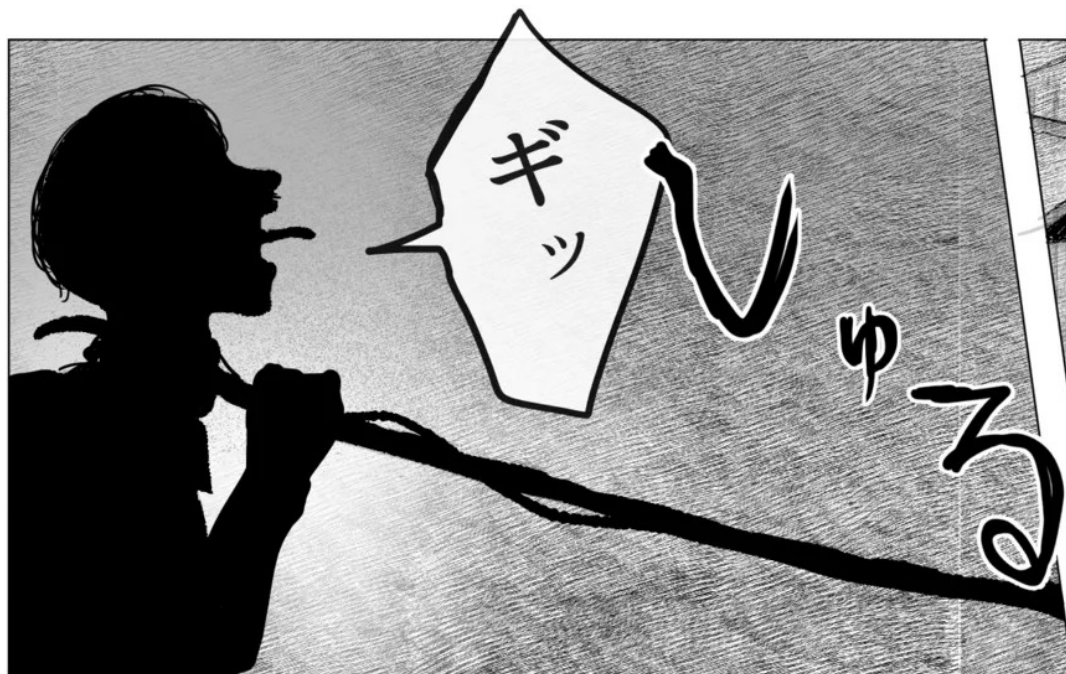




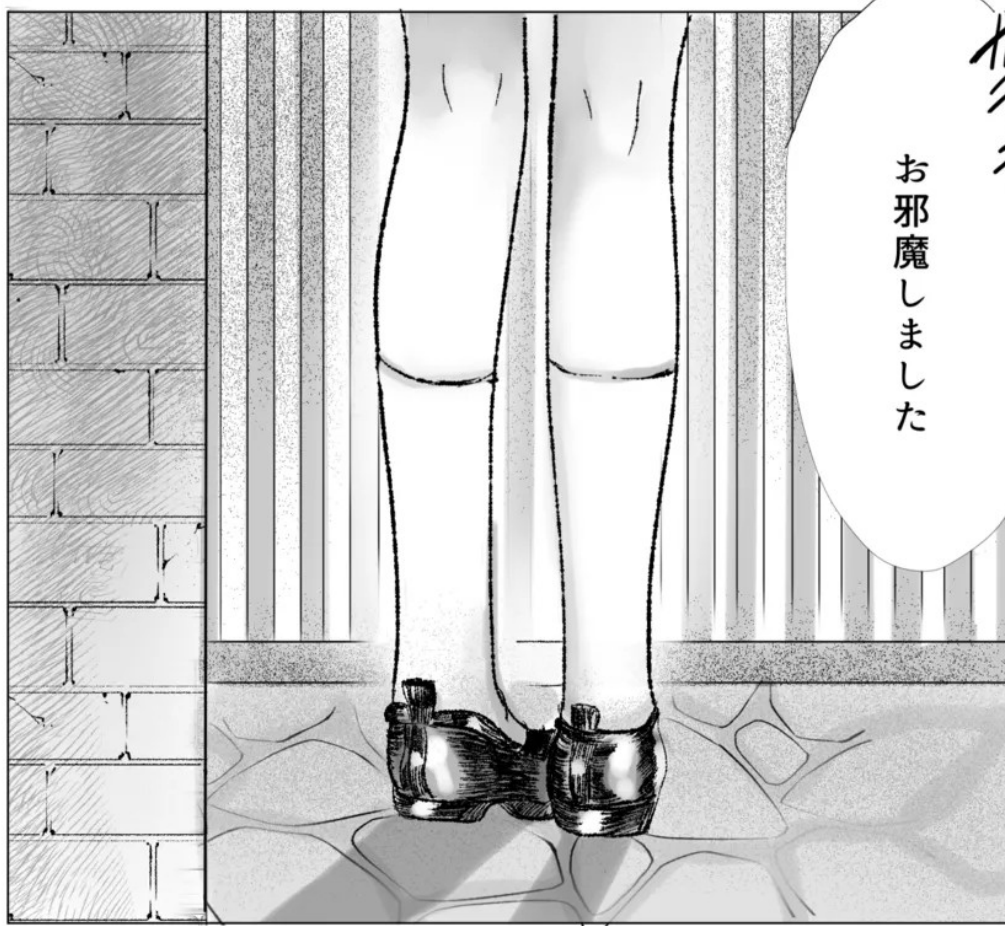








バアッ...



お邪魔しました

ガラガラ



チュン

チュン



ぼく
船にも乗ってみた――

兄さん
次はどこへ向かいますか？



親切な人で
よかった





終

人物設定

雪丸(ゆきまる)

ひよんな事から触手になった
兄と旅をしている。
少々内気だが常にポジティブな
少年。
全てにおいて悪気はない。
兄と愛し合っている。

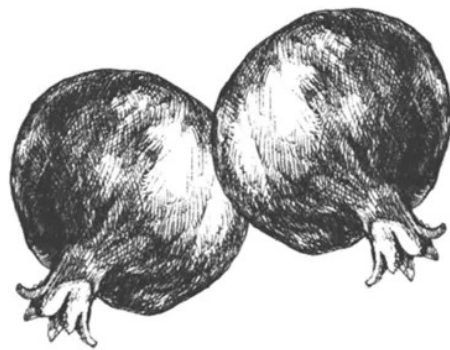
氷之助(ひのすけ)

ひよんな事から触手になって
しまった雪丸の実兄。
暇な時は一発芸の練習をしている。
人間だった時は硬派で実直な人柄
だったらしい。
弟と愛し合っている。



お読みくださり誠にありがとうございました
もしよろしければ、レビュー/フォローいただけると
励みになります。

葦野燕(アシノツバメ)
@Tsubame_Ashino



いつものごとくきょうだいモノです。
兄弟でR18は初めてでしたが、触手は非常に奥が深く
まだまだ精進が必要と感じました。しかし楽しかったです！
当初はなんちゃってクトゥルフ系ミステリーで兄弟が住む
とある資産家の館が全焼して、なんやかんやあり
兄が異形になる話で考えていたのですが、
早く異形の兄と弟のエロシーンが描きたすぎてこんな感じに
なりました。いつれ描いてみたいです。

またお会いできれば光栄です。

※違法アップロード、18歳未満の閲覧・購入を固く禁ず※